

糖尿病・高血圧症と 睡眠時無呼吸症候群との関係



『肥満の人は睡眠時無呼吸症候群になりやすい
さらに糖尿病・高血圧の人は、そうでない人に比べてなりやすい』と
言われています。

睡眠時無呼吸症候群とは？

さらに糖尿病・高血圧の人は、
そうでない人に比べてなりやすい』とされています。
大きないびきを特徴とし、睡眠中に何度も呼吸が止まってしまう病気
です。 **日中の強い眠気やだるさ、頭痛だけではなく、高血圧症・糖尿
病・脳梗塞・心不全などの原因**にもなると考えられています。



睡眠時無呼吸症候群 チェックリスト

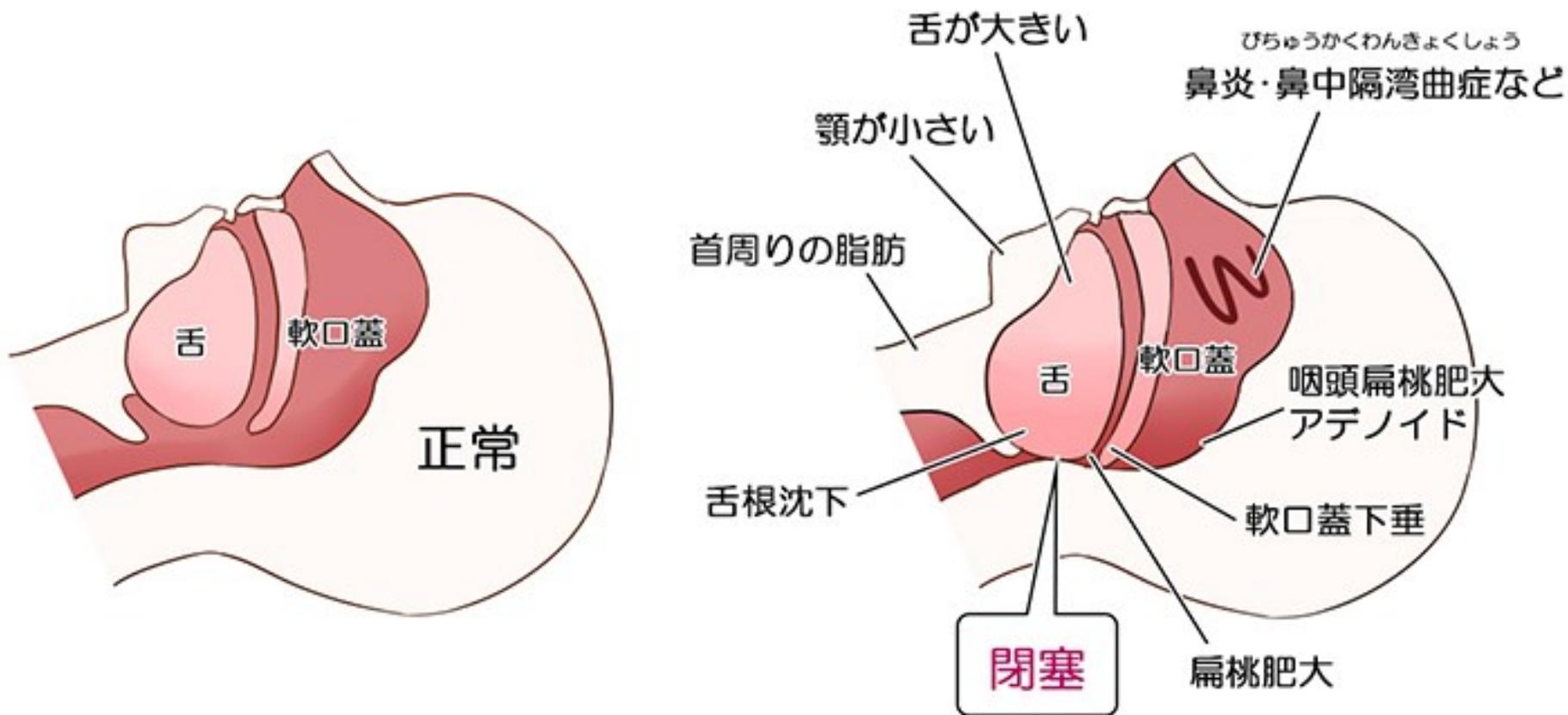
- 大きないびきをよくかく（言われたことがある）
- 睡眠中に呼吸が止まっていると言われたことがある
- 日中、強い眠気で困ることがある（運転中・仕事中など）
- 朝起きた時に頭痛があり、口が乾いている
- いくら寝ても、朝疲れがとれていない感じがする
- 夜間の眠りが浅く、しばしば目が覚める
- 肥満の傾向にある
- 高血である
- 顎が小さい



ご自宅で実施できる簡易検査がございます。

当てはまる項目がございましたら、お気軽にご相談ください！

呼吸が止まってしまう原因には、上気道が狭くなったり、塞がってしまうことで閉塞状態となってしまう。



©MedicalNote, Inc.